

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2014.10.No206

10月号

目次

前回到続き信任投票で代議員40名が決定……	1
特集 平成25年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品 ひがし大雪自然館 HIGASHITAISETSU NATURE CENTER……	2
道士会の動き……	4
実行委員会報告……	5
[まちづくり・事業]	
青年・女性の怒……	6
[No.68 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
支部だより……	7
[宗谷・上富良野・網走]	
information……	8

URL <http://www.h-ab.com/>

前回到続き信任投票で代議員40名が決定

(一社)北海道建築士会 代議員選挙管理委員会
委員長 北澤 征夫

代議員が決定しましたのでお知らせいたします。

◆9月1日に正会員の皆様へ通知し行われました信任投票の結果、特定の候補者が当選人となることについて、選挙人からの異議が述べられなかったため、一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則第18条第5項により、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなし、9月16日をもって当該特定の候補者を当選人（代議員）に決めました。

◆一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則（抜粋）

○第18条第5号

選挙人が前項第3号（特定の候補者が当選人となることについて、選挙人が9月1日から1週間以内に書面で異議を述べることができる。）の期間内に特定の候補者が当選人となることについて異議を述べなかったときは、当該当選人は、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなす。

◆代議員一覧

支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名
札幌	池田 浩司	後 志	佐藤 裕	旭 川	宮原 進	網 走	塩川 顕児
札幌	山本 明恵	岩 内	原 勉	旭 川	米本 一恵	北 見	因 芳広
札幌	内海 純一	余 市	赤石 達也	士 別	土岐 浩二	北 見	古屋 昌廣
千 歳	吉川 政二	古 平	堀江 昭夫	富良野	林 誠	美 幌	山岸百合子
恵 庭	水間 幸彦	室 蘭	半崎 敏裕	上富良野	健名 康則	紋 別	高野 昭一
北広島	関川 修司	苫小牧	用田 史門	名 寄	遠藤 光博	遠 軽	高橋 利己
石 狩	佐藤 壽治	日 高	土井宗太郎	十 勝	奥 周盛	宗 谷	岸 義雄
函 館	山内 一男	空 知	仁志 紘一	十 勝	三日市則昭		
函 館	工藤 誠	空 知	笹木 一茂	釧 路	金子ゆかり		
檜 山	佐藤 久	北空知	小川 広見	根 室	山口 耐一		
小 樽	鈴木 道夫	留 萌	小幡 光男	中標津	佐々木 優	計	40名

◆代議員の任期

平成26年代議員選挙終了日から平成28年代議員選挙終了日まで

平成25年度 北海道赤レンガ建築賞受賞作品

ひがし大雪自然館 HIGASHITAISETSU NATURE CENTER



北海道赤レンガ建築賞

ひがし大雪自然館 HIGASHITAISETSU NATURE CENTER

- 建築主 北海道地方環境事務所、上士幌町
- 設計者 〈建築〉株式会社 アトリエアク 〈電気・機械設備〉有限会社 基設備研究所 〈構造〉有限会社 エスフォルム
- 施工者 《北海道地方環境事務所区分》〈建築・電気・機械〉伊藤組土建 株式会社 〈展示〉株式会社 丹青社
《上士幌町区分》〈建築〉宮坂・橋内経常建設共同企業体 〈電気〉横山・宮内・スズキ経常建設共同企業体
〈機械〉株式会社 塚田設備工業 〈展示〉株式会社 丹青社
- 建築物の 所在地：河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷48-2 主要用途：博物展示施設
- 概要 構造及び階数：木造平屋建 建築面積：1,043.12㎡ 延べ面積：970.10㎡ 竣工年月日：平成25年3月29日

審査講評

ひがし大雪自然館は大雪山国立公園内のぬかびら源泉郷を縦断する国道に沿った敷地に建つ。板張り外壁に切妻大屋根が載る単純な構成は、雪国木造建築の祖型を私たちの記憶から呼び起こし、建物は街の重要なランドマークとなっている。

施設は、環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンターと上士幌町ひがし大雪博物資料館の二つを合築して一体の内部空間をつくり、施設を利用した様々な活動に対応するもので、町と国が連携して整備運営する全国的にも例がない試みである。国立公園内施設の様々な制約の中で、切妻屋根を載せた13m×40mの矩形が二つT字型に接続する平面計画で、双方は全く同じ構造の勾配屋根と仕上げを持つが構造的には別の関係である。外壁素材に使用した地元の唐松材は45mm角の垂木材を縦に並べて打ち付けられ、ハードな地域気象条件下で深い軒の出に保護されながら、十分風雪に耐えられる力強さを持つ。内部空間では、勾配天井の棟位置に屋根荷重の軸力を負担する集成材の柱とその上の火打筋交いとなる鉄骨材が列柱をなす。それらは林の中を感じさせる心地よい空間をつくり、習熟したディテールが空間を引きしめている。天井頂部からの採光と排気用の天窗から自然光が入ることで大屋根を軽やかに見せている。空間の全般照明も、露出電球1灯のコードペンダントを数多く勾配天井から下げて光の点群を大空間に漂わせるなど、様々な部分にオリジナルデザインと工夫がみられる。内部の必要機能を果たす諸室や種ごとの生物標本群を展示する空間は、大空間の中に入れ子状に配置されている。中央部分に置かれた4つの展示ボックスは、素材と色彩や軸線を変えながらも通り抜けが可能で、見学路に回遊性と変化を与えている。計画と構造の合理性、細部のディテールなど良く練られ、担当建築家の熟練した技術と品格が表われた上質な建築である。

合築による施設機能の強化は、地区外来訪者ばかりか地域の子供たちや暮らす人々にとって、地域風土の動植物や歴史に対しての知的要求に十分こたえる施設内容である。そして、日本を代表する山岳自然国立公園の山ふところにおいて、極めて質の高い建築空間と展示内容が整備されたことは、地域の誇りとなると同時に、来訪者にとって十分満足の得られるものである。

この建築は、アジアの国々からも注目を浴びる今日の北海道において、建築文化の向上に寄与し、地域社会の発展と熟成に大きく貢献したと高く評価し、今年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。

(北海道赤レンガ建築賞審査委員長 大野 仰一)



■企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

ひがし大雪自然館は、大雪山国立公園の東大雪地域を中心とした、自然や歴史、リアルタイムな地域の情報を発信する拠点施設です。サテライトフィールドである十勝三股における、環境教育を実施する活動拠点とするため、北海道地方環境事務所と上士幌町が連携し、合同で整備しました。

北海道地方環境事務所では「環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンター」（博物展示施設）、上士幌町は「上士幌町ひがし大雪博物資料館」（博物展示収蔵施設）を担当し、一体的に整備しました。

■設計の特徴

国立公園内の建築は、木造切妻が原則です。ひがし大雪自然館は、北海道地方環境事務所と上士幌町との合築としてT字型に繋ぐ形態としていますが、切妻の原則は守っています。二つの施設はスパン・軒高等、全て同一寸法同一材で計画し、一体の建築として全てを統一しています。

建設地のぬかびら源泉郷は、 -20°C を下回る特別寒い地域ですが、その反面温泉地であるため、地温は少し高めです。その地温を活かし、地中に蓄熱槽を形成する、電気による土壌蓄熱暖房を採用しました。この地域には昔から発電所もあり、地域エネルギーとして電気を使用しました。

■施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

ひがし大雪自然館は、北海道産カラ松集成材を使用し、全体を構成しています。両施設とも間口13m。奥行40mとし、13mの間口は、無理をせず中間に軸力だけを負担する柱を立て、柱頭からは放射状に梁を支持するフィンガーを出しています。スチールパイプのフィンガーによって、柱、梁とも小断面となり、合理的で軽快な構造となっています。

■完成後の地域への貢献度等

環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンターは、東大雪の自然や歴史について、又、地域内の利用状況や登山道情報など様々な活動に関する情報を発信しています。

上士幌町ひがし大雪博物資料館は、東大雪地域の自然と世界の昆虫、そして生物多様性について解説をしています。又、ぬかびら源泉郷を中心とした観光情報も発信しています。

町内外から沢山の子供達が訪れ、大きい空間を活かしたシンボル展示や小さい空間の連続するテーマ展示、そして体験エリアを行ったり来たりしながら、雄大な自然と生物の不思議さを体験し、楽しい時間を過ごしています。

北海道赤レンガ建築奨励賞には、「恵庭市黄金ふれあいセンター」が受賞しました。「北海道建築士5月号」に特集を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。（情報委員会）

道本部の主な会議報告

◆第4回 理事会

〈開催日〉9月5日(金)

〈議案〉議題はすべて承認済み

- 1) 平成26年一般会計事業報告及び収支状況報告(7月末)について
- 2) 平成26年特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)について
- 3) 平成26年一般会計収支予算の補正(案)について
- 4) (一社)北海道建築士会相談役の推薦(案)について
- 5) 第40回全道大会(紋別大会)のテーマ(案)について
- 6) 会費の請求期限(案)について
- 7) 平成26年会費未納者の会誌送付停止時期(案)について
- 8) 北海道建築士会震災建築物応急危険度判定支援要綱(案)について
- 9) 「継続的な能力の開発の促進に関する規則」の改正(案)について
- 10) 「建築士の知識及び技能を社会に明示するための制度に関する規則」の改正(案)について
- 11) 「専攻建築士の認定審査に関する基準を定める規則(審査基準)」の改正(案)について
- 12) 「専攻建築士の登録更新審査に関する基準を定める規則(更新基準)」の改正(案)について
- 13) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

◆第4回 地域貢献活動センター委員会

〈開催日〉9月5日(金)

〈議案〉

- 1) 「宗谷支部」申請の活動助成について
- 2) 全道大会(旭川大会)展示パネルについて
- 3) その他

道本部の主な行事予定(10月)

- 12日 一級・木造建築士「設計製図」試験
25日 (公社)日本建築士会全国大会福島大会

関係機関等会議出席状況

31日

C P D・専攻建築士制度委員会(東京)
高野会長出席

平成26年度 第三・四期
建築士定期講習 受講案内

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。建築士事務所に所属する方で、平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)に建築士定期講習を修了した方は、今年度が更新の受講年度となります。

第三期(平成26年)		第四期(平成27年)	
開催地	開催日	開催地	開催日
北斗市	10月29日	札幌市	1月26日
室蘭市	11月13日	釧路市	2月12日
旭川市	11月19日	帯広市	2月18日
札幌市	11月19日	北見市	2月20日
		北斗市	2月25日
		旭川市	2月26日
		札幌市	3月18日
		苫小牧市	3月19日

※受講案内、受講申込書の郵送も行っております。本部事務局(011-251-6076)までお問い合わせください。

〈講習会受講料割引のお知らせ〉

本会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会(建築基準法講習会等)を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券(受講は1回限り)を発行します。

※割引券は、定期講習当日に配布します。

◆割引額 会員 2,000円 会員外 1,000円

平成26年度
応急危険度判定士認定講習 受講案内

今年度も下記日程で開催予定しております。詳細はHP(<http://www.h-ab.com/>)をご覧ください。

開催地	開催日	会場名
札幌市	10月7日(火)	かでの2・7大会議室
旭川市	10月28日(火)	上川総合振興局 3階講堂
岩見沢市	11月11日(火)	空知総合振興局 5階会議室
室蘭市	11月12日(水)	胆振総合振興局 3階大会議室A
留萌市	11月18日(火)	留萌振興局 3階入札室
函館市	11月20日(木)	渡島総合振興局 402
網走市	11月21日(金)	オホーツク総合振興局 3階講堂
帯広市	11月25日(火)	十勝総合振興局 4階A B会議室
倶知安町	11月27日(木)	後志総合振興局 2階講堂
浦河町	12月4日(木)	日高振興局 201号会議室

平成27年1月～2月に札幌市、江差町、旭川市、稚内市、苫小牧市、釧路市、根室市でも開催を予定しています。

横のつながりを大切に



まちづくり委員会

委員長 佐藤 芳則 (苫小牧支部)

3月8日(土)に第1回まちづくり委員会を開催して以来、今年度の事業である「景観整備機構の指定」「まちづくりセミナー」「全道大会分科会」の活動を重点的に進めて参りました。それと並行して連合会まちづくり委員会の活動にも参加しております。

「景観整備機構の指定」

(一社)北海道建築士会を景観整備機構の有力候補と考える札幌市との意見交換会を4月16日(水)に行いました。市からは、市の助成制度や市が蓄積しているデータを活用した継続的な事業を期待している。また、札幌支部で行っている「景観スペシャリスト養成講座」の修了認定者を制度化し、市の景観アドバイザーに推薦する仕組みも視野に入れたい、とのアドバイスを頂きました。今後、指定に向けて申請の手続きを進めるに当たり、どの事業から着手するか委員会で検討を重ねるとともに、北海道の指定に向けても協議してまいります。

「まちづくりフォーラム」

今年は札幌支部まちづくり委員会が主管となり、本部まちづくり委員会主催で9月14日(日)に「第4回まちづくりフォーラムin札幌 ハツキタフォーラム」をJR発寒中央駅北口に延びる発寒北商店街で開催しました。地元商店街の方との意見交換を行い「札幌で一番住みやすい街」を目指す取組みを知ろうと道外からも訪問者が絶えないハツキタのまちづくりを知り、道内各地のまちづくりに生かして頂ければと考えます。

「全道大会分科会」

9月27日(土)の旭川大会に於いて「賑わいfrom<買物公園>」のテーマでB分科会を担当しました。新駅舎から歴史経路で買物公園へ向かう「まちあるき」と、地元でまちづくりに関わるお二人のパネラーの講演、参加者とのディスカッションを通して「旭川の魅力」の見せ方・魅せ方を考えました。

「連合会まちづくり委員会」

8月6日(水)に第1回まちづくり委員会が行われ、全国大会福島大会の交流セッション①と第8回まちづくり賞発表会&公開選考会について議論するとともに、まちづくり賞の一次審査も行いました。今回のセッションは「防災・減災まちづくり」をテーマに青年・女性・まちづくりの3委員会合同で行います。

北海道建築士会まちづくり委員会も青年委員会・女性委員会との横のつながりを大切にしながら活動を続けていきたいと思っております。

「小規模建築物を対象とした地盤・基礎」解説講習会



事業委員会

委員 飯高 清嘉 (十勝支部)

実際に業務をされている建築士にもわかりやすい「小規模建築物を対象とした地盤・基礎」(日本建築学会)が2003年に発刊されてから、10年が経過。その間に東日本大震災が発生し首都圏でも地盤の液状化現象が発生するなど、地盤に対して不安や問題が生じており、これをふまえて最新の研究結果を反映した改訂版が発刊されました。

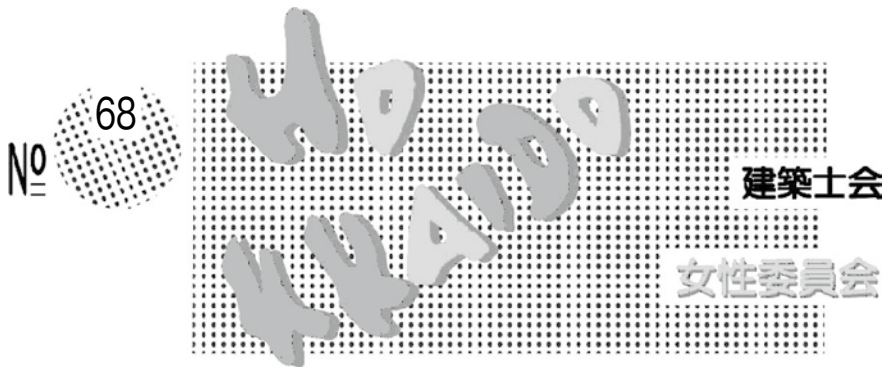
事業委員会では、小規模建築物の敷地地盤の評価、基礎構造選定の重要性が増す中、主に建築士・工務店担当者等を対象に地盤調査と基礎設計に関する技術水準の向上を図るために講習会を開催することを決定。8月22日の札幌市での講習会はテキストのほか、北海道各地のハザードマップや、道内に対応する基礎設計をまとめた資料を用いて行われました。全体で3時間という講義時間は午後半日を要し参加者が少ないと思われましたが43名の参加者があり、出席者に厚く感謝いたします。

今回使用したテキストは2,000円(税別)で、「小規模建築物基礎設計指針」(2008年)「小規模建築物基礎設計例集」(2011年)共に4,500円の内容が網羅されています。二冊で9,000円が2,000円で取得できることが大きなメリットです。講義に出席することでさらに補完できると考えられます。

最初の講義は、基本事項、地盤調査、地盤の安全性評価、基礎及び地盤補強工法の選定について、講師の経験も含め、基礎の重要性について解説。後半は、基礎設計例、工事監理、基礎の障害と修復という内容。テキストは全国に共通の基礎設計ということで、北海道に対応していないところがあり、資料を用いて説明されていました。札幌周辺の凍結深度600ミリの基礎設計において、布基礎とべた基礎を比較すると、べた基礎が有利になる場合があることがわかりました。また工事監理者の責任を解説していただき、「業者任せやなれ合いでは問題が起こるかもしれないので注意しないといけない」と指南。基礎の障害と修復では、実際の障害の基礎の復旧の難しさを解説しました。

この講習は函館、十勝支部でも開催されていましたが、有意義な講習会ですので、他の支部での開催やテキストの購入があることを期待しています。





第2回女性委員会報告

小樽支部 本間 恵美

7月19日(土)に女性委員会を開催しました。出席者は9名。協議事項と報告事項について。

- ・全道大会A分科会は、「木の持つチカラ」をキーワードにパネリスト3名を迎え、北海道材の活用についてトークセッションを行う。

- ・全道大会における活動紹介パネルの作成について。

- ・女性建築士の集いは、全道大会翌日に磯田憲一氏を迎え「命ことほぐ」と題して、君の椅子プロジェクトの講演を開催。

- ・建築士による家庭科住教育出張講座は、登別青嶺高等学校で、5/28・2学級、6/2・2学級を開催。石狩翔陽高等学校で6/24・1学級、6/30・1学級を開催。

- ・連合会女性委員会は、10/24の全国大会で、青年・まちづくりとの3委員会合同セッションを開催。

- ・ブロック活動報告

道央A：札幌支部HUG講習会に協力(4/2・札幌・会員21名・会員外2名)。パーソナルカラー診断講習(4/6・小樽・会員6名)。

道北：HUG講習会(5/24・旭川・会員7名)。

道東A：折紙建築展に参加(4/1～30・釧路)。イタリア料理講座&イタリア建築紀行(7/12・釧路・会員5名)。

委員会後は、恒例の納涼会を開き、暑さを吹き飛ばしました。



宮城県建築士会より、震災時の「こころはひとつ」作戦のお礼として、かわいいエコたわし「編んだらもんだら」と青年部・女性部会報が届きました。

まちなみ発見 旭川たてものウォッチング

旭川支部 高見 友子

当支部に北方建築総合研究所公開デーの一環で行うイベントへの協力依頼があり小池さんと企画から参加しました。大人向け企画は今回が初めてで、生涯学習の場を提供し、建築に親しんでもらうことを目的に専門家の解説を聞きながらまちを巡ってみようというものです。講師は、旭川の歴史的建築物の保存を考える会会長の川島洋一先生。旭川支部女性委員会では、「古建築を巡る」の講師を5年間お願いしていたこともあり、その時に巡った場所などの中から、一般の方でも楽しく見てもらえるところを先生にピックアップしていただき、あのエピソードやこの話をしてほしいなどお願いしながらコースを作っていただきました。いつも車で通っていて見落としがちなることを歩いて発見してもらおうと徒歩移動区間も盛り込まれました。

当日(8月2日)は快晴で気温も高めで歩くのもちょっと大変ながらも13名の参加があり、川島先生の楽しい解説で時には笑い声がありながらのまちめぐりとなりました。

旭川グランドホテルでは、低層部がなぜ赤レンガと屋根をかけたデザインになったのか?なぜ、最上階のバーは、あの名前なのか?など秘密が明かされ、そうだったんだ…と感心したりびっくりしたり。(秘密を知りたい方は、旭川支部女性委員会までご一報を!)



旭川市庁舎では、「設計者の佐藤武夫氏の中学時代は旭川育ち。旭川にレンガ造の建築が多いことを知っていてレンガを使ったのでは。住んだことが無い設計者だと違っただろう」市庁舎設計の評判が良く、その後佐藤氏の仕事が増えたことなどが解説され、見慣れている市庁舎にもいろいろ発見がありました。



その後数箇所巡り帰路へ。今回、私達建築士にはあたりまえでも、一般の方にはそうではないと体感でき良かったです。他団体との協力や連携イベントも建築に興味を持ってもらえ建築士を身近に感じてもらえる機会なので今後も大切にしていけたらと思います。

川島先生から頼まれていた「しゃべりすぎたら止めてくれ!」はなかなか遂行できませんでした…今後の課題ですね(笑)

東日本大震災復興支援
(被災地・岩手県大船渡市から中間報告)

宗谷支部

前事務局次長

西間 敏幸



支援する方も、支援される方も、元気になる「結い」づくり！

4月1日から災害復興のため、岩手県大船渡市に派遣されました。大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の移転補償業務を担当。

現地の状況は4月から本格的に工事開始。槌音が盛んになりました。また、その状況を見る市民や観光客も来訪。まずまずの出だしですが、建築職の人手不足が聞こえております。2020年までは東京五輪特需と重なっており、交通の便が悪い分、危険信号予想。

出来る対策として、東北と北海道がもっと密接な関係になること。

交通便の改善(簡単に行ける関係、もっともっと往来を)

:「いわて花巻空港」と道内各空港との接続➡千歳空港往復4便のみ。

:フェリー乗入れなし。岩手三陸港にフェリーを。

:新幹線(函館・青森間)の完成による利便性の向上。

通信網の先駆け(共同環境)

:第5世代通信網とアプリソフトによる超便利社会の実現(だれでも使えるスマホ)

:日本人以外も障がい者も使える「通訳案内」、「支払」、「危険回避(病気・津波・放射能)」

高度医療の提供

:岩手県の「脳卒中日本一の解消」健康管理チャレンジアプリ

:ドクターヘリの相互乗り入れ

その他

次世代自動車運転が楽しめる環境の提供(自動運転システム、水素自動車など)

「結い」「手間貸し」で様々な難問をみんなで解決しよう！

江花通り植栽事業

上富良野支部

事務局員

島田 久



「花人街道237」や「北海道ガーデン街道」と呼ばれ、シーニックバイウェイに指定されている国道237号線。景観の豊かな国道と私達が住む上富良野町の中心部を結び、町のアプローチと言える江花通りの植樹柵への植栽事業を実施しました。



6月14日早朝、まずは花苗を町内の花農家さんまでトラックで仕入れに行きます。植える花はマリーゴールドとペコニアの2種類で、合計600株を数えます。

花苗を載せたトラックはあいにくの小雨がちらつく江花通りへ到着し、集合した会員は5チームほどに分かれ植栽が始まりました。

参加した18名の会員による慣れた手つきで作業が順調にもものすごい早さで進んでいきます。

土を起す人、穴を掘る人、花を植える人、周囲の草を刈る人、各々が黙々と作業するうちに降っていた小雨も止み、全ての工程は約二時間で完成を迎えました。

通りに植えられた花々を眺め達成感を感じながら、お茶で一言「お疲れ様」の声を掛け合い一度解散。夜に再合流し、もう一つの事業である花見を町内の「大阪苑」にて開催しました。地元産豚サガリを食べながら建築士仲間の交流を密なものとし、無事に春の支部事業を終えました。事業の様子は支部のブログをご覧ください。

(<http://kmfkenchiku.blog.fc2.com/>)

青年部会活動の復活！

網走支部

事務局長

山口 悟



網走支部は今年6月に青年部会を8年ぶりに復活しました。

復活に向けて準備会を開催した後、青年部復活の日には45歳以下の青年会員が約20人が集まり、懇親を深めながら親会から支部長、役員も参加して青年部の歴史を語り、今後の活動内容に熱い意見を出し合いました。青年サミット、全道大会(旭川大会)には、青年部長以下4人の青年会員が参加しました。



「建築士の日」事業として7月5日にチャリティビールパーティを開催し、復興支援に今年で3回目の寄付させていただきました。

歌手「水木ジュン」による、高齢者施設へのライブ演奏、音楽慰問を事業は今年で10周年を迎え支部としてコンサート慰問活動を支援しています。また、市内の公園広場において親、保護者と子供たちが一緒に巣箱作りの作業を行い、親子の触れ合いを通して「もの作り」の楽しさを体験してもらうことを行っています。(今年で3回目)子供たち13名参加で保護者含めて約30名、会員12名参加しました。



CPD認定プログラム(9月認定)

- ◆平成26年度応急危険度判定士認定講習会
《日程及び会場》10月7日(火) 13:30~15:30
かでの2.7(札幌市)
他16か所(P4参照)
- 《単位数》 2単位
《問合せ先》 (一社)北海道建築士会
TEL 011-251-6076
http://www.h-ab.com/
- ◆平成26年度震災建築物応急危険度判定机上訓練
《日程及び会場》11月27日(木) 15:30~16:30
後志総合振興局(2階講堂)他7か所
- 《単位数》 1単位
《問合せ先》 北海道後志総合振興局
TEL 0136-23-1373
- ※応急危険度判定認定講習会と合わせて開催します。
開催する会場については、北海道建築指導課ホームページでご確認ください。
- ◆震災建築物応急危険度判定訓練
《日程及び会場》10月2日(木) 13:00~15:30
ニセコ町民センター(ニセコ町)
- 《単位数》 3単位
《問合せ先》 北海道後志総合振興局
TEL 0136-23-1373
- ◆平成26年度工事現場見学会
(一社)札幌建設業協会会員限定
《日程及び会場》10月29日(水) 13:30~16:30
北海道庁本庁舎(札幌市)
- 《単位数》 2単位
《問合せ先》 (一社)札幌建設業協会
TEL 011-261-6182
- ◆「木造の継手及び仕口の構造方法」講習会
《日程及び会場》10月29日(水) 19:00~21:00
伝成館(中標津町)
- 《単位数》 2単位
《問合せ先》 (一社)北海道建築士会中標津支部
TEL 0153-75-2111

建築士試験「学科の試験」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	743名	96名	12.9%
二級建築士	802名	216名	26.9%
木造建築士	4名	1名	25.0%

建築士会会員 みなさまの声 大募集

情報委員会では、ひろく皆様から、ご意見・ご要望(リクエスト)を募集いたします。「こんなこと知りたい」「わたしの主張」などなど……。よりよい紙面づくり、ホームページのために会員みなさまの声をお聞かせください!メール(urakami@h-ab.com)またはFAX(011-222-0924)、郵送でも受付いたします。

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
(一社)北海道建築士会情報委員会 宛て

編集後記

全道大会(旭川大会)も無事成功に終わり、情報委員会では編集局を設け号外を発行させていただきました。ご協力ありがとうございました。如何だったでしょうか?感想を頂けると幸いです。次年度以降の参考とさせていただきます。

さて今月号は、決定いたしました40名の代議員の方々を紹介されています。又、特集として「北海道赤レンガ建築賞受賞作品」を紹介しています。秋も深まり、朝晩は冷えてまいりました。くれぐれもご愛ください。

情報委員会委員長 神田 光英

【国税広報参考資料】



ダイレクト納付はこんなに便利です!

ダイレクト納付とは
e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は指定した期日に納付することができる電子納税の納付手段で、源泉所得税の毎月納付手続等、利用回数が多い手続きに特に便利です。



ダイレクト納付のメリット

税務署や金融機関に向向ことなく、オフィスなどから納付が可能のほか、次のようなメリットがあります。

- ① インターネットバンキングの契約が不要
- ② 期日を指定して納付することが可能
- ③ 税理士が納税者に代わって納付手続を行うことが可能

ダイレクト納付の利用のためには
「ダイレクト納付利用届出書」を税務署に持参又は送付してください。

税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp

図書案内



資産価値の高い建築を提供するためのポイントと解説

- ◎第56回建築技術講習会テキスト
- ◎A4判:88頁 ◎定価:2,625円
- ◎発行日:2013年刊
- ◎発行:(一社)北海道建築士会



資産価値の高い建築を提供するためのポイントと解説(追補版)

- ◎第57回建築技術講習会テキスト
- ◎A4版:32頁 ◎定価:500円
- ◎発刊:(一社)北海道建築士会



建築技術者のためのガイドブック 小規模建築物を対象とした地盤・基礎

- ◎B5版:114頁 ◎定価:2,160円
- ◎発刊:(一社)日本建築学会

情報委員会委員長/神田 光英
副委員長/斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子
鈴木 雅人

北海道建築士 No.206号

印刷 平成26年9月/発行 平成26年10月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011)251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011)811-7151番